

県内経済の動き

概況

〔2021年9月～2021年11月の動き〕

オミクロン株の県内経済への影響が懸念される

鉱工業生産指数（9月）は7カ月連続で前年同月比上昇、通関輸出額（10月 細島港）は2カ月ぶりに前年同月比減少した。百貨店・スーパー販売額（10月 全店ベース）は5カ月ぶりに前年同月比増加、「軽」を含む乗用車の販売台数（11月）は3カ月連続で前年同月比減少した。新設住宅着工戸数（10月）は2カ月ぶりに前年同月比増加し、公共工事（11月 保証対象請負総額）は2カ月ぶりに前年同月比増加した。有効求人倍率（10月）は前月比横ばいの1.36倍で、11月の企業倒産は前月比3件増の4件、負債額は同8億44百万円増の8億70百万円となった。

国内でも新型コロナウイルスの変異株「オミクロン株」の感染が確認された。感染拡大への警戒が、年末年始の経済活動を抑制する恐れがある。